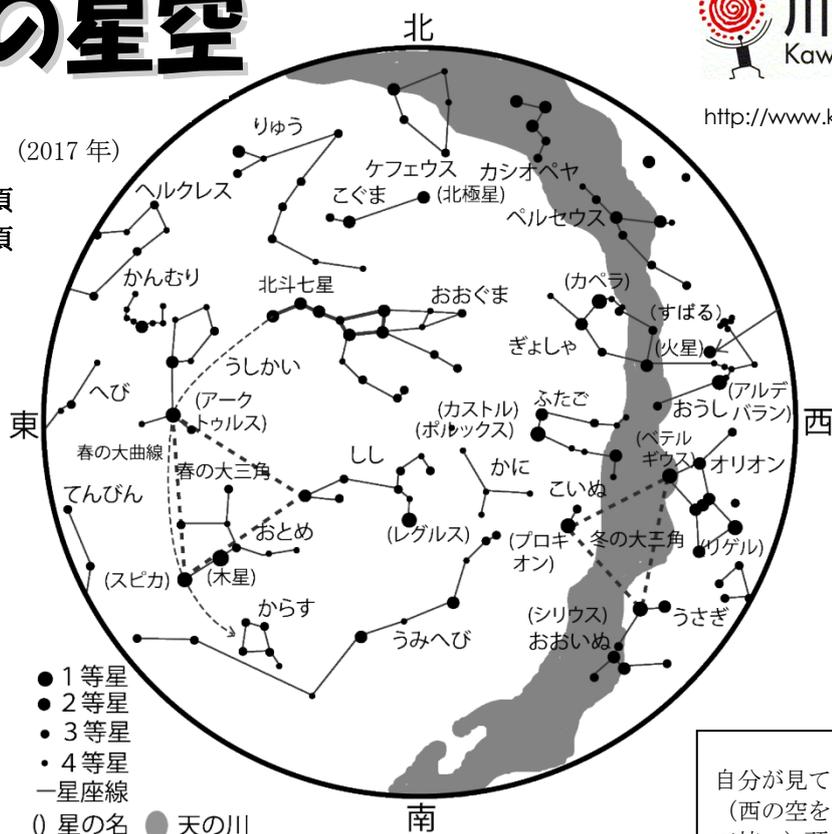


今月の星空

4月 (2017年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢	●	上弦 4 日、	○	満月 11 日、	◐	下弦 19 日、	●	新月 26 日
惑星情報	水星	夕方	西	(おひつじ座 0 → 2 等級)	(1 日から 10 日まで)			
	金星	明け方	東	(うお座 -4 → -5 等級)				
	火星	夕方	西	(おひつじ座 → おうし座 2 等級)				
	木星	夕方	東 → 南東	(おとめ座 -3 → -2 等級)				
	土星	明け方	南	(いて座 0 等級)				

☆ 春の星座と木星

冬の星座「オリオン座」は西の空にうつり、東から南の空には「しし座」や「おとめ座」、北の空高くには北斗七星がある「おおぐま座」などの春の星座が見られます。

今年は「おとめ座」の 1 等星スピカの近くにとっても明るい木星が目立っています。スピカのような恒星は瞬いて (またたいて) 見えるのに対し、木星のような惑星はあまり瞬かないということから星の種類の違いを見分けるのも楽しいです。

☆ 木星が衝 (8 日)

木星が地球から見て太陽と反対側にくる「衝 (しょう)」となり、一晩中見られるため、観望好機となります。朝夕にしか見られない金星に対し、夜通し見ることができる木星は「夜中の明星」とも呼ばれます。

☆ ガリレオ衛星

木星には 60 個以上の衛星が見つっています。このうち、1610 年にガリレオ・ガリレイが発見したイオ、エウロパ、ガニメデ、カリストはガリレオ衛星と呼ばれ、双眼鏡や小さな望遠鏡でも見ることができます。

これらの中で、特に興味深い衛星がエウロパです。この衛星の表面から水と見られるものが高さ 200 km まで噴き出している様子を、2016 年 9 月、ハッブル宇宙望遠鏡によって初めて観測されました。2020 年にアメリカとヨーロッパが共同でエウロパに向け探査機を打ち上げる計画が進められており、観測によってこの間欠泉が詳しく調査されるかもしれません。